

1μm以下の誤差を追求しています。
超高精度な歯車製造。目には見えない、



最後まで
あきらめるな!!

佐竹 克哉 さん(1980年生まれ)

豊丘高校 出身
中部大学 工学部卒業

永田鉄工株式会社

豊川市宿町野川1-12
<https://nagatatekko.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→機械製図や機械加工などを学ぶ→歯車の設計・製造をおこなう企業に就職→現場研修→生産技術

— 学生時代

「高校時代は、バスケットボール部に入り、部活動に熱中していました。試合に出場すること、試合に勝つこと。それに向けて日々の練習に取り組みました。集団スポーツということもあり、同じ目標に向かって協力する大切さを学べたと思います。得意科目が理系に偏っていたこともあり、卒業後は中部大学工学部機械工学科に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「機械製図や機械加工、材料力学など機械工学の基本を学びました。自分で描いた図面をもとに鉄を機械で加工してモノを作る講義があり、旋盤やマシニングの動きが理解できていたので仕事の飲み込みもスムーズだったと思います。就職活動では、何社か現場を見学させていただきました。その中でも、高精度な「歯車」という特殊なモノづくりをしている永田鉄工に興味をもち入社を決めました」

— 仕事について

「入社後、まず加工現場の研修がありました。製品を作るために必要な加工図面や工程の設計、治具の設計を中心に学びました。歯車は特殊な形状をしているので、それに伴う複雑な計算が必要になってきます。未知の部分も多かったですが、必死に勉強しました」

現在の仕事内容を教えてください。

「新規製品が立ち上がる時、製造工程の準備をおこない、その製品を完成まで導くことが私の仕事です」



完成までの仕事の流れとは？

「まず、営業担当からお客様が求めている歯車の図面が届きます。工場加工が可能か、リスクがないかを検討し、お客様と打ち合わせしながら問題点を解決していきます。その後、旋盤や歯切加工、研磨などの工程設計をして、各工程に必要な設備、治具や削る工具などを選定します。その製造工程で加工された製品を、厳しく設定された社内基準で測定・検査し、問題がなければ出荷していきます」

心がけていることは？

「超高精度な歯車を作ること。目には見えない、1μm(ミクロンメートル)以下の誤差を会社全体で追求しています。加工の原理、条件、設備の状態をしっかり把握し、総合的に分析して高精度なモノづくりを常に心がけています」

— やりがい

「他社では真似ができない、超高精度な歯車製造を実現できたときにやりがいを感じます。試行錯誤を繰り返して、新規の製品が無事に完成まで至った瞬間もうれしいです」

— なるためには

「入社後に順次取得していく資格はありますが、入社前に必須となる資格は特にありません。私のように大学の工学部で機械加工や材料力学などを学んでおくと、仕事の役に立つと思いますよ。学生時代は、何事も中途半端で終わらずに最後までやり遂げることが大切です。私は高校の部活動から、あきらめない気持ちや日々の努力の大切さを学ぶことができました。部活に入っていない人は、習い事でも勉強、趣味でもいいので、いまできることに全力で取り組んでください！」

ありがとうございます。



自分探

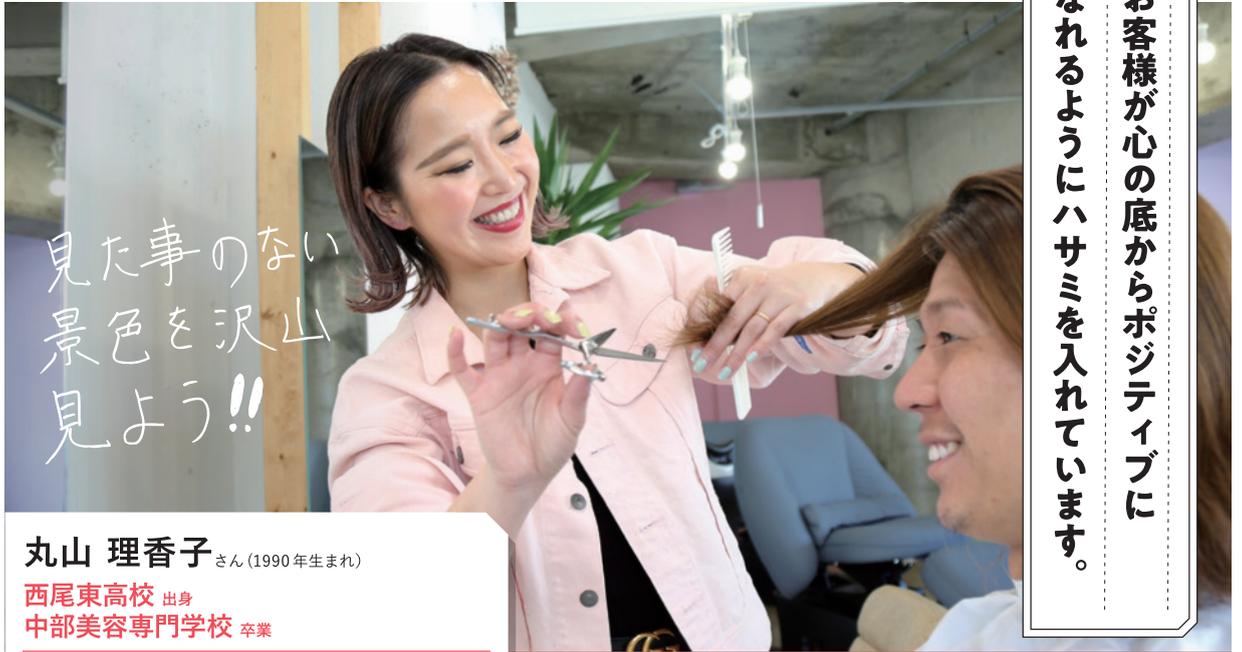
- 18歳 バスケットボールに熱中。部活動を通して、あきらめない気持ちを育む。
- 22歳 中部大学に進学し、機械工学の基礎を学ぶ。卒業後、永田鉄工に就職。
- 39歳 新規製品立ち上げの統括を任せられる。超高精度なモノづくりに取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



お客様が心の底からポジティブになれるようにハサミを入れていきます。



見た事のない景色を沢山見よう!!

丸山 理香子 さん (1990年生まれ)

西尾東高校 出身
中部美容専門学校 卒業

Hair salon HONEY

岡崎市伊賀町西郷中86-2 デザインネット・ヴィレッジ1F
https://www.instagram.com/honey__okazaki/

なるためには

● 必要資格 / 美容師免許
● 主な進路 / 高校卒業 → 養成課程のある専門学校に進学
→ 国家試験に合格して美容師免許を取得 → ヘアサロンに就職 → 独立して自身のサロンをオープン

— 学生時代

「高校時代は、いろんなことを経験できて楽しい思い出がいっぱいです。好きなことを全力で楽しんでくれる人たちがまわりについて、とても刺激を受けました。みんなとにかくキラキラしているんです。退屈な人生より、私も胸を張って続けられることを仕事にしたいと思いました。自分にとってはそれが美容師でした。」

「専門時代のことを教えてください。」

「高校卒業後、中部美容専門学校に進学しました。中部美容の魅力はトータルスタディー制。カットやカラーなどの美容師の技術はもちろん、メイクやネイル、エスエヌ、着付け、礼儀作法など幅広く美に関わることを学びました。なかでも印象に残っているのは、得意だったヘアセットの分野で東海代表として美容学生の全国大会に出場したこと。髪の毛で惑星を作ったりして宇宙を表現しました。仕事でブライダルのセットメイクをすることもあるので、専門学校で培った表現力が役立っていると思います。」

「仕事について」

「アシスタント時代は、美容師としての技術以上に人間力を高めてもらえたと思います。美容師は、いかに目の前の人に想像以上の感動を与えられるかが重要。感謝や思いやりの気持ち、一人ひとり丁寧に接することの大切さを教わりました。前のサロンに丸9年勤めて2019年に独立し、「HONEY」をオープンしました。」

「現在の仕事内容を教えてください。」

「私の仕事は、ヘアスタイルを作ることだけではありません。お客様が心の底からポジティブになれるようにハサミを入れていきます。お客様はいろんなメンタルで来店しますが、最後にはみんな最高の笑顔で帰れるような仕事を意識しています。」

「心がけていることは？」

「何気ない会話を通し、いまのお客様に合ったレングス、カラーなどを、ベストなスタイルの提案を心がけています。あとは、仕事をマンネリ化させずに、常に新鮮な気持ちで楽しむこと。一人ひとりに心から寄り添える美容師が目標です。毎回、初デートに行く気持ちでお客様と向き合っていますよ(笑)」

「やりがい」

「この仕事の魅力は、入学式、卒業式、成人式、結婚式と、人生の大事な場面にずっと寄り添えること。そんな大事な場面に私を必要としてくれて本当にうれしいです。『いままで頑張ってきたよかった！』って思える瞬間です。もう私も家族の一員みたいな感じです。」



— なるためには

「国家試験に合格して、美容師免許を取得することが第一歩です。就職後は、サロンによりますが、私は2年間アシスタントとして技術を磨きました。美容師には、何事もポジティブに変換できる心の強さが必要ですよ。いいことも悪いことも自分の人生経験がすべて役に立つ世界ですよ。学生時代は、失敗を恐れずに自分の足を使っているんな経験をしてください。いままで見たことのない景色をたくさん見てほしいです。そのなかで感性を磨き、大きな夢をもってください!」

ありがとうございます。



自分探

18歳 胸を張って続けられることを仕事にしたいという思いから、美容師を志す。

20歳 中部美容専門学校に進み、美容に関する技術、知識を幅広く学ぶ。

29歳 「HONEY」をオープン。日々の仕事を通し、お客様を最高の笑顔に!

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



毎日たくさんのお弁当を作りますが、お客様にとっては『ひとつのお弁当』。



わくわくすることに
全カで!!

河合 菜津貴さん(1993年生まれ)
豊橋東高校 出身
愛知大学 国際コミュニケーション学部卒業

武蔵株式会社

豊橋市牟呂町松島東11-1
<http://www.634-jp.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→飲食店運営、仕出し業務をおこなう企業に入社

— 学生時代

「将来は、得意だった英語をいかした仕事に就きたいと思っていました。当時の憧れはグランドスタッフです。大学で英語を専門的に学びたいと思い、愛知大学国際コミュニケーション学部に進学しました」

「大学時代のことを教えてください。」
「英文法やスピーキングから、英語の歴史や国際文化まで幅広く学びました。印象に残っているのは、海外に行った経験。在学中にロサンゼルスへの短期留学を経験しましたし、海外旅行にもたくさん行ききました。ヨーロッパに行ったとき、日本とはまったく違う食文化や生活スタイルにふれ、衝撃を受けたことを覚えています」

— 仕事について

「現在は、『どなかつ和食武蔵総本店』『超グルメ回転すし武蔵丸』などを運営する武蔵グループで働いています。入社後に教わったのは、飲食業界のこと、社訓や会社の歩みなどから。研修を終え、配達専門の部署『武蔵お届け料理センター』に配属されました。最初に任されたのは、『盛り付けの仕事。一目見て『おいしそう!』と思ってもらえるような盛り付けを意識しています。懐石の器に料理を盛り付けて仕出し料理を作り、配達にも先輩と一緒に回りました。飲食業界は料理が主役のイメージですが、料理はひとつのツールだと私は思います。食事を通して、お客様によるこんでもらうことが私たちの仕事です」

— 現在の仕事内容を教えてください。



「盛り付け、配達事務の仕事に大きく分かれています。まず、出社してお弁当の盛り付けからスタート。お弁当のあとに精進落としての懐石料理の盛り付けを順にしていきます。その後、片付けをして、納品書など各種書類の作成をおこないます。お弁当は、日によって量も内容もさまざま。量が多いときは、配膳や盛り付けにスピードも求められます。葬祭センターからの注文は当日じゃないとわからないところもあるので、部署内で連携をとって臨機応変に対応しています」

— やりがい

「お客様との会話から、『武蔵』のことが好きだという気持ちが伝わってくるのがあります。豊橋、豊川の葬祭センターからの注文も多いです。地元のみなさまに愛されることを実感するときにはやりがいを感じます。あとは、新しいお客様が増えるのもうれしいです。料理内容や臨機応変な対応など、営業努力の賜物だと思います」

— なるためには

「飲食業界は資格も必要なく入りやすいですが、その分おもてなしの気持ちや工夫がとても大切な業界です。私たちは毎日たくさんのお弁当を作りますが、食べるお客様にとっては『ひとつのお弁当』。食べるお客様の顔を想像しながら作るよう心がけています。いまの高校生を見て思うのは、存在してるだけで青春だになってこと(笑)。高校時代は、目の前のことを一生懸命、何事にも手を抜かないでください。つらさの中にある本当の楽しさにぎっと気づくときがきますよ!」



先輩

18歳 バドミントン部に所属し、仲間と楽しい時間を過ごす。

22歳 愛知大学に進学し、英語を専門に学ぶ。アメリカへの短期留学も経験。

26歳 武蔵お届け料理センターに配属。食事を通してお客様を笑顔に!

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「やってみよう!」と思えるような
きっかけづくりを心がけています。



廣中 恵美さん(1995年生まれ)
豊丘高校 出身
岡崎女子短期大学 幼児教育学科卒業

蒲郡市立西浦保育園

蒲郡市西浦町丸落20-3
<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/nishiurahoikuen/>

なるためには

- 必要資格 / 保育士、幼稚園教諭
- 主な進路 / 高校卒業→保育士の養成課程がある短大、大学に進学→保育士資格、幼稚園教諭免許を取得→公務員試験(保育士)に合格→保育園に勤務

— 学生時代

「保育士をめざしたのは、高校3年の進路を決めるタイミングです。ずっと習っていたピアノをいかしたいという思いもありました。もともと保育士だったピアノの先生や親の後押しもあり、岡崎女子短期大学幼児教育学科に進学しました」

短大時代のことを教えてください。
「子どもの心と体の発達について、発達段階に応じた子どもとの関わり方などを学びました。季節に合わせた壁面を、いろいろな材料や方法で制作する授業もありました。なかでも印象に残っているのは、音楽に合わせて踊ったり身体表現をするパフォーマンスボディ。豊かな表現力や感性が養われたと思います。保育実習では、手遊びや絵本の読み聞かせを学んだことが現場でも役立ちました。一方で、子どもとのふれあいは教科書通りにはいかないことも多く、一人ひとりに合わせた対応の難しさも実感しました」

— 仕事について

「1年目は1、2歳児を複数担任で担当し、先輩から保育の流れや施設のことを教わりました。当時は子どもの中でも緊張してしまいう場面が多くありましたが、その緊張感はずいぶんも伝わってしまします。いまは、いつも笑顔で接すること、自分も楽しむことを心がけています」

現在の仕事内容を教えてください。
「園での生活を通して、やる前からあきらめてしまうのではなく、何事もチャレンジする気持ちを養って



ほしいと思っています。子どもたちが興味をもったことがあればすぐに準備をして、「やってみよう!」と思えるきっかけづくりを大切にしています」

日々の活動を教えてください。

「けん玉やトランプなどの道具を使って遊んだり、園庭で缶蹴りや縄跳びをしたりと、日々いろいろなことをして遊んでいます。子どもと遊ぶだけでなく、子どもの記録を書くことや次の日の準備も大切な仕事です。保護者のお迎えが来たら、1日の様子や連絡事項を伝えます。年間の大きな行事としては運動会や発表会があり、季節ごとに節分や七夕などの行事、誕生日会や散歩などをおこないます」

— やりがい

「やりがいを感ずるのは、いままでできなかったことができるようになったり、身体的にも気持ちの面でも子どもの成長を実感する瞬間。いつも一緒にいると自分では気づきにくいので、他クラスの先生から『あの子成長してるね』と声をかけられるとうれしいです」

— なるためには

「短大、大学に進学し、保育士資格、幼稚園教諭免許を取得するのが一般的です。あとは、子どもと一緒に楽しむ気持ちがあれば大丈夫。外から見ているだけでなく、私も子どもたちの中に入って、同じ心、同じ視線で歌ったり踊ったりすることを意識しています。学生時代の私は部活漬けの生活でした。もっと友達と遊びたかったと思うときもありました。でも楽しかったです。後悔はありません。みなさんも友達と遊んだり部活に熱中したり、たくさん思い出をつくってください!」

ありがとうございます。



自分探検

- 19歳 岡崎女子短期大学に進学し、発達過程や、豊かな表現について学ぶ。
- 20歳 南部保育園に配属。年間、毎月の保育の流れを学ぶ。
- 24歳 現在は、西浦保育園に勤務。子どもたちに挑戦する気持ちが育まれるよう、日々の活動に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様が商品やサービスを快適に利用できる環境を整える。



挑戦しよう!

大竹 悠亮 さん (1993年生まれ)

愛知産業大学三河高校 出身
名古屋学院大学 商学部卒業

ミカワリコピー販売株式会社

豊橋市大岩町沢渡 92-2
<https://www.mrnet.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業 → 大学に進学 → 情報処理について学ぶ → OA機器の販売・メンテナンスなどをおこなう企業に就職 → CS推進部に配属

— 学生時代

「情報処理科だったので、日本語ワープロ検定や情報処理技能検定、秘書検定や電卓検定など、高校時代は資格をたくさん取得しました。そのころから、将来はパソコン関係の仕事がしたいと思っていました。興味をもったのは小学5年のとき。カナダ出身の友達が帰国することになってしまい、どうにかして連絡をとりあえないかを考えていたんです。電話は無理だけどメールならと、帰国前にメールアドレスを作った連絡をとりあっていました。そのときの経験がきっかけです」

大学時代のことを教えてください。

「高校時代よりさらに深く情報処理について学びたいと思い、名古屋学院大学商学部に進学しました。いろいろな言語を使用したプログラミングを学んだり、エクセル関数を使用してアルゴリズムを作ったりしました。就活の軸にしたのは、学んできた知識をいかせる仕事。それでキャリアアセンターの方に紹介されたのがミカワリコピー販売でした。キャリアアセンターでは、エントリーシートの書き方から面接練習まで、手厚くサポートしてもらいました」

— 仕事について

「研修は約3ヶ月間。取り扱う複合機の種類や性能、使い方、点検・修理で使用する工具の名前や使い方などを勉強しました。学生時代のアルバイトとは責任の重さも違うので失敗に対する不安もありましたが、まわりのサポートもあり、「新しいことに挑戦してみよう」という意識が芽生えました」



現在の仕事内容を教えてください。

「CS推進部に配属されています。お客様が商品やサービスを快適に利用できる環境を整えるのが私の仕事です。企業を訪問して複合機やプリンター、システムなどの点検・修理をおこない、お客様が長く快適に使えるよう保守に努めています。機械と向き合う仕事のように見えますが、利用するお客様と向き合うこと、お客様との会話がとても大事な仕事です。修理の場合、いろいろなケースがあるので、どのような症状で悩んでいるかをお客様から詳しく聞いて作業をしています」

— やりがい

「自分で考えて不具合の原因を導き出し、部品を交換して正常に戻ったときは達成感があります。お客様から、「困っていたけど助かったよ。ありがとう」と言われたときもうれしいですね。私としては当たり前のこととしているのですが、それに対して感謝の言葉をいただくことやりがいを感じます」

— なるためには

「必須資格は特にありませんが、ある程度パソコンを使えたいほうが仕事もスムーズに覚えられると思います。研修でパソコンの基礎は教えてもらえますが、知識の吸収の速さが違うはずですよ。あと大切なのは、新しい知識を取り入れていこうという姿勢。この業界は、常に新しい機能が増えていくので、その都度勉強していく必要があります。学生時代は、まわりにいる友達を大事にしてください。私は、学生時代の仲間が存在が仕事でつらいことがあったときの支えになっていますよ!」

ありがとうございます。



- 18歳 資格取得に励んだ高校時代。情報処理技能検定、秘書検定などを取得。
- 22歳 大学でプログラミングなどを学ぶ。卒業後、ミカワリコピー販売に就職。
- 26歳 機器の点検・修理を通し、お客様が長く快適に使えるよう保守に努める。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



病院で最初と最後に患者さんと顔を合わせるのが私たち医療事務です。



野村 美和さん(1998年生まれ)

安城南高校 出身

慈恵歯科医療ファッション専門学校 卒業

社会医療法人財団新和会 八千代病院

安城市住吉町 2-2-7

<http://www.yachiyo-hosp.or.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 医療事務
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→医療事務の資格を取得→病院に医療事務として就職

— 学生時代

「高校の思い出は部活動です。ソフトボール部に入っていたんですが、部員が少なく、先輩が引退したら3人になってしまいました。(笑)。普段は3人で練習し、休日は、ほかの高校と合同で練習していました。私はキャプテンを任されていたので、そんな状況でも辞めずに最後までやり遂げたのはいい思い出です(笑)。医療事務をめざしたのは高校3年のときです。咳喘息になってしまい、病院に通っていたのですが、受付の方はずっと笑顔で対応してくださり、そのとき「医療事務っていいなあ」と思ったのがきっかけです。卒業後、専門知識を学べる慈恵歯科医療ファッション専門学校医療事務学科に進みました」

— 専門時代のことを教えてください。

「言葉づかいなどのビジネスマナーから、医学の基礎、保険制度、医事コンピュータ、レセプト(※)作成などについて学びました。1年次は、手話、華道、茶道などの授業もありました。仕事を始めて今、役に立っていると感じるのは、カルテを見てレセプト作成をする授業です。薬や処置、手術など、レセプト作成に必要なさまざまな診療内容について勉強したことがいかされています」

— 仕事について

「卒業後、八千代病院に就職しました。病院実習のときは積極的に行動できませんでしたが、社会に出て仕事を覚えるなかで責任感が芽生え、患者さんが少しでも困っていると



気づいたらこちらから声をかけられるようになりました。病院で最初と最後に患者さんと顔を合わせるのが私たち医療事務です。病院の印象に大きく関わってきます。病院の顔として、病院運営を支える役割を担っていると思います」

— 現在の仕事内容を教えてください。

「患者登録や保険証の確認、診断書や紹介状など、さまざまな文書の受付、お会計や電話対応などをおこなっています。月初は、診療情報から出たレセプトに記載されている病名と診療内容、処方薬などが正しいかを確認しています。心がけているのは、常に笑顔でいること。あとは、お年寄りの方にはゆっくり大きい声で話したり、患者さんに合わせた対応も心がけています」

— やりがい

「患者さんに感謝されるのがやがいです。まだ余裕のない日々の業務のなかで、『本当にありがとう。お世話になりました!』って言うてくれる方もいます。患者さんの役に立っていることを実感できることも、やりがいにつながっています」

— なるためには

「必須ではありませんが、医療事務資格をもっていると役立つ場面が多いと思います。私は、通いやすさとオープンキャンパスの雰囲気、慈恵を選びました。少人数制ということもあり、疑問点も先生に気軽に聞けてすぐに解決できました。先生との距離が近く、アットホームな雰囲気、魅力だと思っています。将来人と接する仕事に就きたいと思っている人は、言葉づかいを意識して学校生活を送ってほしいです。先生や先輩との関わりのおかげで学ぶことが一番大事だと思いますよ!」



18歳 医療事務員をめざし、慈恵歯科医療ファッション専門学校に進学。

20歳 ビジネスマナー、保険制度やレセプト業務について学ぶ。

21歳 病院内や文書の受付、レセプト業務などをおこなう。病院の顔として運営を支える。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



金融知識やへきしんのネットワークを
いかし、お客様の困りごとを解決。



伊藤 雅敏 さん(1994年生まれ)
安城高校 出身
愛知学院大学 経済学部卒業

碧海信用金庫

安城市御幸本町15-1
<https://www.hekishin.jp/>

なるためには
●必要資格 / 特にありません
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、経済について学ぶ→信用金庫に入庫→後方事務、窓口などを経験→営業担当

— 学生時代

「高校在学中、職業については特に明確なビジョンがなかったため、大学に進学して目標を見つけようと思っていました。どんな業種に進んでも学んだ知識がいかせると思い、学部は経済学部を選びました」

大学時代のことを教えてください。

「ミクロ経済やマクロ経済について、経済用語などを勉強しました。学年が上がるとつれて専門分野を学びます。ゼミでは、金融政策を学びました。実際にあった金融政策やリーマンショックなどの出来事を研究したり、そのうえで現在の情勢やこれからの展望を考察したりしました。2、3年次には、信用金庫へのインターンシップに参加しました。幅広くいろいろな業種の企業と関われると思ったことが、金融業界を軸に就職活動を進めたきっかけです。大学卒業後、碧海信用金庫に入庫しました」

— 仕事について

「地域のお客様に困っていることを聞いて、金融知識やへきしんのネットワークをいかし、地域経済活性化をサポートする仕事です」

入庫後、最初に教わったことは何ですか？

「まずは、コンプライアンスや法令遵守について、自分以外のお金を扱うことに対する考え方や責任感などを学びました。研修後は支店に配属され、後方事務として窓口のサポートをしながら信用金庫の業務を覚えていきます。2年間窓



口や融資などのいろいろな業務を経験し、現在は営業担当として働いています」

現在の仕事内容を教えてください。

「外回りをして、個人・法人含めてお客様のもとを訪問します。個人の方だと、相続関係や資産運用の相談が多いですね。法人の方は、資金繰りや融資、仕事の受注に関する相談が多いです。注意しないといけないのは、私たちが提案したい商品とおお客様の求めているものが必ずしも一致するわけではないですね。事務的な対応にならないよう何度も足を運んで話を聞き、潜在的にあるニーズを引き出してお客様に寄り添った提案やアプローチを常に心がけています」

— やりがい

「どんな業務でも、お客様によることでもたらえたときはうれいです。私の提案がお客様の役に立てたことを実感することができます。お客様と信頼関係を築くことができ、「ありがとう」の声を直接いただけることがこの仕事の魅力だと思っています」

— なるためには

「この仕事は、お客様と話す機会が多いので、まず自分のことを知ってもらうことが重要です。趣味でもなんでもいいので、自信をもって自分が話せることを見つけてください。学生時代に、いろいろな種類のアルバイトを経験するのもいいかもしれません。興味をもったことには迷わず挑戦してほしいです。大人になればなるほど時間的にも制限が増えてきます。いまの気持ちを大切にしてください。失敗したとしても、何かに取り組んだ経験は自分の糧になりますよ！」

ありがとうございます。



19歳 愛知学院大学に進学し、経済学や金融政策について学ぶ。
22歳 碧海信用金庫に入庫。後方事務や窓口、融資などを経験。
25歳 金融知識やネットワークをいかし、お客様の困りごとの解決をサポート。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>



医療行為だけでなく、患者さんと先生をつなぐのも私たちの大切な役割です。



同じ目標を持った仲間を作ろう!

神谷 亜梨沙さん(1996年生まれ)

愛知教育大学附属高校 出身
三河歯科衛生専門学校 卒業

中町歯科

豊田市中町中郷 144-9
<https://www.nakamachi-shika.jp/>

なるためには

●必要な資格 / 歯科衛生士
●主な進路 / 高校卒業 → 養成課程のある専門学校、短大、大学に進学 → 国家試験に合格して歯科衛生士資格を取得 → 歯科医院に就職

— 学生時代

「歯の矯正に通っているうちに、歯科衛生士の仕事に興味をもちました。歯科衛生士の学校に通っていた親戚からも話を聞き、徐々にそれが具体的な目標に。高校卒業後、三河歯科衛生専門学校に進みました。学校を選んだ決め手は、少人数制で先生との距離が近いところや食育にも力を入れているところ。学費面と通いやすさにも惹かれました」

「専門時代のことを教えてください」

「歯の病気や構造などだけでなく、解剖学や高齢者に向けた介護、看護についても学びました。実技は、学生同士で患者、施術者補助者に分かれ、歯石を除去するスクレーリングやブラッシング指導、歯の型取り練習などを行いました。2年次からは臨床実習が始まります。学生同士での練習とは違い、怖がっているお子さんや持病のあるお年寄りなど、初対面の患者さんとのコミュニケーションには苦労しました。一方で、歯を削るラウンドバーや親知らずの抜歯に使うヘーベルなど、器具や薬の名前は学校で勉強しておいてよかったです。実習を通し、器具名と何の治療でどう使うのかを一致させて覚えることができました」

— 仕事について

「国家試験に合格して歯科衛生士資格を取得し、中町歯科に就職しました。先生によって治療の流れが違うので、最初は当院の流れを覚えながらお口の中のバキュームや治療説明など先生の補助をおこないました」



「最初に苦労したことは？」

「やっぱり患者さんとのコミュニケーションです。マニュアルがあるわけではないので、まわりの先輩を見ながら、いいところを吸収するように意識しました。『一緒に頑張ろう』など、何事も『一緒に』ということを意識して声かけをしています」

「現在の仕事内容を教えてください」

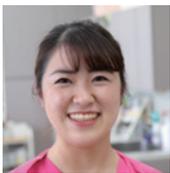
「歯科助手と違い、患者さんのお口の中をさわって医療行為をおこなえるのが歯科衛生士です。患者さんと先生をつなぐのも私たちの大切な役割です。治療するのは先生。むし歯や歯周病などの病気を増やさないよう、予防と改善のために私たちは、スクレーリングや歯の検査、フッ化物の塗布などを行っています」

— やりがい

「ブラッシング指導を通して患者さんに改善が見られ、むし歯の治療が減ったときにやりがいを感じます。最初は歯医者に来るだけで泣いてしまっていたお子さんが、診察台に座れるようになったり、口を開けて少しずつ治療できるようになったりしていくのもうれいすね」

— なるためには

「養成課程のある学校に進学し、国家資格である歯科衛生士資格を取得する必要があります。歯科医院以外にも介護施設や保健所、一般企業など、活躍できる場所が幅広いのも魅力のひとつです。私は三河歯科衛生専門学校で、同じ目標をもった仲間と出会えたことが大きかったです。感じます。国家試験に向けて得意分野をお互いに教えあったりと、まわりはライバルではなく支えあえる仲間。つらいこともありましたが、みんながいたから頑張りぬくことができました」と思います。



18歳 歯科衛生士をめざし、三河歯科衛生専門学校に入学。
21歳 座学や実習を通し、歯科衛生士としての基礎を磨く。卒業後、中町歯科へ。
23歳 就職後も、専門的な知識や技術を勉強して深め、日々自身を成長させる。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



携わった装置が世の中の産業を支えていると思うと、誇りを感じます。



努力は裏切らない

太田 純平さん(1991年生まれ)

岡崎城西高校 出身
大同大学 工学部卒業

株式会社ワイエムジー

豊橋市雲谷町上ノ山234
<http://www.kk-yimg.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / クレーン運転士、玉掛け技能、フォークリフト運転技能など ※入社後に取得
- 主な進路 / 高校卒業→大学で機械工学を学ぶ→産業用装置メーカーに就職

— 学生時代

「小学2年から中学3年まで、豊橋市内のクラブチーム『セントラル豊橋FC』でサッカーをしていました。サッカーの能力が認められてスポーツ推薦を受け、岡崎城西高校に入学しました。サッカー漬けの毎日ですが、努力を重ね懸命にプレーしました。コーチには、別の高校ならレギュラーになれると告げられましたが、それでもあきらめず、うまくなりたいとの一心でサッカーに打ち込んだ経験は、いまでは大切な財産になっています」

大学時代のことを教えてください。

「大同大学工学部に進学し、機械工学について学びました。大学時代も、豊橋市内の社会人チームに所属し、サッカーに熱中する毎日。高校でサッカーに対する情熱は完全燃焼したつもりでしたが、やっぱり好きな気持ちは残っていました。いまでも時間があればサッカー観戦に出かけています。就職活動は、地元で働きたかったこともあり、豊橋周辺の企業を重視しました」

— 仕事について

「ストックカー装置や連結ラインシステムなど、工作機械向・自動化専門の産業用装置を設計、製造するワイエムジーに就職しました。得意先は大手の自動車メーカーや農機メーカーなど日本全国に広がり、多くの顧客をもっています。海外に展開しているお客様のもとへ赴き、国外に出張する機会も少なくありません」



先輩から教わったことは？

「責任感です。お客様の要望や指示には、すぐに対応することが大切です。費用の支出がともなう場合には、営業担当者に相談したうえで、解決を急ぐことを心がけています」

現在の仕事内容を教えてください。

「お客様のニーズに応じ、自動化や省力化を図ったラインシステムやロボットといった産業用装置の開発、設計、製作、設置までを、当社は一貫して手がけています。担当しているのは、仕上げとなる設置業務で、組み付け作業を実施しています。当社の工場で組み上げた製品を、一度解体し、お客様のもとで再び組み上げて完成させます」

— やりがい

「お客様の工場で製品を完成させるたび、自分が携わった装置が世の中の産業を支えていると思うと、『すごい仕事だな』と誇りとやりがいを感じます。ただ、いまでも作業の際、設備の細かい部分の微調整などがまだうまくできないケースもあります。上司の助けを求めて乗り切るのですが、今後は、もっと作業の水

準を上げていき、後輩に知識や技術を伝えられるようになりたいです」

— なるためには

「高校生のころに打ち込んだサッカーが、いまの自分を支えています。あれだけつらい思いを経験したので、メンタルが鍛えられ逆境にも強くなりました。サッカー部で厳しく指導された礼儀やマナーも、社会人になった現在、いかされています。学生時代から目上の方と話すことに慣れておくも職場に適應しやすく、入社したばかりの時期でも年上の先輩たちに囲まれて過さず環境になじみやすいかもしれせん。ありがとうございます」



- 18歳 高校でサッカーに全力投球。完全燃焼の青春時代を送る。
- 22歳 大同大学に進学し、機械工学を学ぶ。株式会社ワイエムジーに入社。
- 28歳 製品についての知識や技術を深め、周囲からの信頼も得る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



共通しているのは、「思いやりの気持ち」を
伝えていきたいという思いです。



峯園 智帆さん(1997年生まれ)

安城南高校 出身

岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科卒業

コアラドライブ安城/株式会社はちどり

安城市北山崎町北浦50

<https://www.coaradrive.com/>

なるためには

- 必要資格 / 指定自動車教習所指導員、指導する運転免許
- 主な進路 / 高校卒業→短大に進学し、エクセルやパワーポイントなどオフィス系ソフトについて学ぶ→自動車学校に就職→教習指導員審査6項目すべてに合格→教習指導員

— 学生時代

「高校時代に熱中していたことは部活です。中学からずっとテニスが続けてきました。あとは、生徒会で書記を担当し、学校行事の企画や司会を経験しました。以前は内気で言われたことしかできませんでしたが、積極的に自分の意見を伝えられるようになったと思います」

短大時代のことを教えてください。

「岡崎女子短期大学現代ビジネス学科に進学しました。選択コースによって、医科医療事務や日商簿記などさまざまな資格を取得できるのが学科の魅力。私は会計&マネジメントコースを選択しました。エクセルやパワーポイントを使って表や資料を作って発表をしたり、CADを使って図形を作ったりと、パソコンを使った授業は社会に出てからも役に立っています。地域の企業を訪問して取材をする授業もありました。1年次にコアラドライブで免許を取得して以来、教習指導員の仕事に惹かれ、就職活動したのは株式会社はちどり一社だけです」

— 仕事について

「教習指導員になるには、21歳以上で、指導する運転免許を取得している必要があります。そして、教則や関係法令、運転技能など6項目の教習指導員審査すべてに合格しないといけません。入社後、まずは法律や技能などの教養勉強から。1年目は試験勉強と並行して、入校数や申込状況をパソコンで管理するなど、事務と受付業務を担当しました」



現在の仕事内容を教えてください。

「運転技術の指導が私たちの仕事です。初めての教習の方には、基本的な運転姿勢や乗り降り、操作の基礎から始めます。教習を通し、運転技術だけでなく、『安全』に対する意識、『道は自分のものではない』という思いやりのある運転意識を指導しています。さまざまな教習生がいるので、相手に合わせた話し方、指導の仕方を心がけています」

仕事を通して伝えたいことは？

「当社は、走る、投げる、飛ばすなど9つの動作を通して子どもの成長を応援する『忍者ナイン』というスポーツ教室も開いており、私はそこでインストラクターとしても活動しています。どちらにも共通しているのは『思いやりの気持ち』を伝えていきたいという思いです」

— やりがい

「教習が終わったあとも会いに来てくれる卒業生の存在にやりがいを感じます。『合格して免許が取れました。ありがとうございました！』という言葉があるから仕事を続けられていると思います」

— なるためには

「必要なのは、人に何かを教えることが好きという気持ち。車内は1対1なので、『コミュニケーション力も求められる仕事です。教習生の緊張を解きほぐす受け答え、相手に合わせた対応が大切です。高校時代は、興味のあることには挑戦してください。遠慮してできなかった…という後悔はしてほしくないです。いろいろなことに挑戦すると、自分は何ができて何ができないのかがよくわかります。弱点と強みを知ること、自分に向いているものがきつと見つかるはずですよ」

ありがとうございました。



自分探検

18歳

部活や生徒会を通し、積極性が身につく。卒業後、岡崎女子短期大学へ。

20歳

エクセルやパワーポイントなどオフィス系ソフトについて学ぶ。

22歳

教習指導員、忍者ナインのインストラクターとして、生徒へ「思いやりの気持ち」を伝える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



後世まで残っていく建築物に携われていることに誇りを感じます。



毎日コツコツとやることが大切!

鈴木 雄太 さん(1997年生まれ)

岡崎西高校 出身
愛知工業大学 工学部卒業

酒部建設株式会社

岡崎市日名中町6-1
<http://www.sakabe.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、建築について学ぶ→建設事業を展開する企業に就職→工務部に配属

— 学生時代

「高校時代はテニス部に入っていて、部活の思い出が多いです。部活を通して、練習をコツコツ続けることの大切さを実感しました。建築に興味をもったのは、親が建築関係の仕事をしていいたから。卒業後、愛知工業大学建築学科に進学しました」

「主に設計や製図について学びました。住宅や工場など与えられたテーマに沿って建物をデザインし、図面を描いて設計をする講義が印象に残っています。実際に図面をもとに建物の模型を作ったりもしました。大学で建築の基礎を学びましたが、なかでもCADの講義は現在の仕事にも役立っています」

— 仕事について

「岡崎西高校に通っていたので、通学途中にある酒部建設の本社を昔から見ていて気になっていました。大学生のときにインターンシップに参加したのですが、社員のみならずの雰囲気よさが志望した決め手です。あとは、公共施設の工事にも携わっていて地元に着用している会社だということも。地元貢献したいという思いもあったので、入社を決意しました」

最初に任された仕事は?

「コンクリート数量の拾い出しです。施工図からどれくらいの量のコンクリートが必要なのかを計算する作業を任せられました。この仕事は期限が細かく決められているわけではないので、自分で区切りを考え



て段取りを組んで行動しないといけません。学生のころと違い、自分で考えて時間を守ることができるようになったと思います。あとは、コミュニケーション力も身につきました。もともと人見知りだったのですが、現場を重ねることで、リラックスして職人さんとも対等に話せるようになりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「現在は、工事現場の工程管理が主な仕事です。現場で実際に作業をするのは職人さんたち。型枠大工や鉄筋工、鷹職の方など、さまざまな職人さんが関わってくるので、私は指示をする立場として先々のことまであらゆるケースを想定し、臨機応変な対応や作業しやすい環境を整えることを心がけています」

— やりがい

「この仕事は、何もない更地の状態から躯体ができて鉄骨が立ち、建物ができあがっていく様子を見るのがやりがいです。地元岡崎で後世まで残っていく建築物に携われていることにも大きな誇りを感じます」

— なるためには

「円滑に仕事を進めるためにも職人さんとの連携が大事です。職人さんは80歳くらいまで幅広い世代の方がいるので、コミュニケーションが必要になってきます。資格は入社時には必要ありません。その都度、必要な資格を取得していくかたちです。私は、1級建築士や施工管理技士などの資格取得をめざして実務経験を積んでいるところです。この業界は、仕事をしながら常に新しい知識を増やしていく必要もあります。学生のときから勉強する習慣を身につけておくとうれしいと思います。ありがとうございます」



自分探

- 18歳 親の影響もあり、建築関係の仕事に興味をもつ。愛知工業大学に進学。
- 22歳 設計、製図などを学ぶ。大学卒業後、酒部建設に就職。
- 23歳 現場がスムーズに進む環境づくりを意識し、日々の工程管理に取り組み。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



ひとりでおこなう仕事は少なく、
みんなで協力して進めることが大切。



矢野 七海さん(1995年生まれ)

小坂井高校 出身

愛知学泉大学 家政学部卒業

株式会社アイレクスリテイル

豊川市正岡町流田507

<https://www.on-seven-days.jp/home/>

なるためには

● 必要資格 / 特になし
● 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、衣食住について幅広く学ぶ→生活雑貨を取り扱う企業に就職→研修後、店舗に配属

— 学生時代

「もともと家庭科の授業が好きだったこともあり、将来は生活に関わることを仕事にしたいと考えていました。愛知学泉大学家政学部に進学したのも、衣食住を幅広く学びたいと思ったから。オープンキャンパスにも参加し、先輩や大学の雰囲気も明るく楽しそうだったことも進学先を決めるきっかけになりました」

大学時代のことを教えてください。

「衣食住の『衣』の講義では、柄や裏地などを見て生地を選び、裁断・縫製をして洋服を作りました。『食』では、地元食材を使った料理を作ったりと実習が多かったです。座学では世界の食文化について学びました。『住』では、インテリアコーディネートや空間デザインの講義が印象に残っています。生活に関わる仕事がしたいという思いはずっと抱いていたので、さまざまな生活雑貨を扱うオンセブンデイズを展開するアイレクスリテイルに就職しました」

— 仕事について

「研修後は、店舗に配属され、レジとラッピングの練習から始まります。贈り物として買いに来るお客様が多いので、箱の形や用途に合わせたラッピングを勉強しました。夏ごろから売場を担当するようになります。ウエア、コスメ、ベビー・キッズ、文具など、さまざまな売場に分かれているのですが、お菓子とキッチン用品売場を任されました。主な仕事は、発注、品出し、ディスプレイ変更などの売場づくり。先輩の売場を参



考にしながら最初は試行錯誤する毎日でした」

現在の仕事内容を教えてください。

「お客様のライフスタイルをより豊かにし、笑顔を集めることが私の仕事です。現在は、お菓子とキッチン用品に加えて和雑貨も担当しています。私たちはメーカーではないので、仕入れた商品をいかに『いい』『かわいい!』ってぱっと見て思ってもらえるかが重要。人の視線はZを描くように動くので、左上に見せたい商品を置き、色の展開や配置も工夫してディスプレイづくりをしています。新商品が入ってきたときは、使い方や注意点を店舗で共有して接客にいかしています」

— やりがい

「ギフトセットは、定番の商品はもちろん、季節感やトレンドを感じられる組み合わせも意識しています。お客様に、「初めての贈り物なんですけど、こういうものが人気ですか?」と質問され、「こういうものもよろこばれると思いますよ」と提案したとき。最後の『ありがとう』という一言にやりがいを感じます」

— なるためには

「接客が好き、雑貨が好きという気持ちさえあれば十分。私は就職して売場の担当をもってからも、いまだに新商品が入ってくるたびにうれしい気持ちになりますよ! 自然と誰かに新商品を紹介したくなります。女子あるあるかもしれないですが、ひとりでおこなう仕事は少なく、みんなで協力して進めることが大切。チームプレイは必ず必要になってきます。学生時代に、部活や学校行事などを通して、協調性を養っておいてください!」

ありがとうございます。



分
年
間

18歳 生活に関わる仕事に就きたいと考え、愛知学泉大学家政学部に進学。

22歳 衣食住を幅広く学ぶ、大学卒業後、アイレクスリテイルに就職。

25歳 お菓子、キッチン用品、和雑貨を担当。接客や商品を通し、お客様のライフスタイルをより豊かに。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



商品を販売するというよりも、
コーディネートのお手伝いをする感覚。



弘中 唯さん (1997年生まれ)

安城生活福祉高等専修学校 出身
慈恵歯科医療ファッション専門学校 卒業

イトキン株式会社

名古屋市中村区名駅1-2-1本館(JOCOMOMOLA)
<https://www.itokin.com/>

なるためには

- 必要資格 / ファッションビジネス能力検定、販売能力検定 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→服飾関係の専門学校に進学→アパレルブランドを展開する企業に就職

— 学生時代

「ファッションに興味をもったきっかけは覚えていませんが、小学生のときから裁縫が好きだった記憶があります。中学では手芸部に入っていましたし、高校を選んだのも服飾の勉強をするため。学園祭のファッションショーで、私が作った服を着てもらったり、自分もモデルを経験したことが思い出に残っています。高校卒業後は、慈恵歯科医療ファッション専門学校に進みました」

「採寸してパターンをひくところから、生地を裁断・縫製して仕上げるところまで、服づくりの基礎を学びました。それ以外にもファッションの歴史やビジネス、色彩学、ネイルなど授業は幅広かったです。人と話すことが好きだったので、製作より接客に向いていると思い、幅広いアパレルブランドを展開するイトキンに就職しました。素材によって着用した際の見え方に違いがあり、お洗濯の面では自宅で洗えるもの、クリーニングに出すべきものがあるので、生地や素材について勉強したことが仕事で役立っています」

— 仕事について

「私は、JOCOMOMOLAホコモモラに配属されました。最初は、お店と商品の雰囲気やテイストに慣れることから。店長やチーフの動きを見ながら、声かけの仕方や接客を覚えていきました。当店は、名鉄百貨店に入っていることもあり、40代以上のお客様も多いです。自分の

「接客業の魅力は、話をしながら洋服を提案し、お客様との距離が近くなっていくことだと思います。幅広い年代のお客様と話すのは単純に楽しいですよ。あとは、私の顔や名前を覚えてもらえることもうれしいです。提案した洋服を購入していただき、それを着て来店してもらえ



— なるためには

「必須ではありませんが、私は専門学校で、ファッションビジネス能力検定3級、販売能力検定3級などの資格を取得しました。高校卒業後、服飾関係の専門学校で専門知識を学んでおくと仕事に役立つと思いますよ。あとは、洋服が好きなのは大前提で、笑顔がすてきな人や話すことが好きな人に向いている仕事だと思います。学生生活はみなさんが思っているより短いので、いまだできなことを目一杯楽しんでください。でも、遊びすぎず、ちゃんと勉強もしてくださいね笑」

ありがとうございます。



自分探

18歳

服飾の基礎を学ぶ。より専門的な勉強をするため、慈恵歯科医療ファッション専門学校に進む。

20歳

インターンなどを経て、自分は接客に向いていると実感し、イトキンに就職。

22歳

JOCOMOMOLAに勤務。常に笑顔で心がけ、仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



調整してつなぐことが私の仕事。
アジャスターのように、人と人との

仕事とは人の役に立つこと
人の役に立つからこそ仕事



竹内 稔晴さん(1979年生まれ)

桜丘高校 出身

豊橋創造大学 経営情報学部(現:経営学部)卒業

株式会社丸金商会

豊橋市問屋町1-8

<https://www.marukin.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→経済学や中小企業論について学ぶ→管工機材などを扱う商社に就職→総務部に配属

— 学生時代

「バスケット部に入り、部活に熱中した高校生活です。部員が多かったので、上下関係やチームワークなどを学ぶことができたと思います。パイプやポンプなどの管工機材や住宅設備・機械工具の販売をおこなう丸金商会は、祖父が創業した会社。小さいころから祖父や父の働く姿を見てきたので、いつか一緒に働きたいという思いもっていました」
大学時代のことを教えてください。
 「豊橋創造大学では、簿記や中小企業論を学んだことが印象に残っています。いろんな大手企業が存在するなかで、中小企業の役割や意義世の中の経済をどう回しているのかを学びました。地元の中小企業へも訪問し、働くうえで役立つ経験になったと思います」
— 仕事について
 「大学卒業後、同業種の会社で営業を経験しました。この3年間が社会人の基礎を築いた下積み期間です。根がまじめで、最初は仕事のことを固く考えすぎていました。そして、上司から『固すぎる。それじゃ潰れちゃうぞ』『もっと仕事を楽しめ』と言われました。ひざを突きあわせてお客様との会話を楽しむ。働くうえでその意識は大切にしています」
丸金商会に入社後の業務は?
 「丸金商会に入社し、総務部に配属されました。それ以来、16年間ずっと総務部で働いています。任せられる仕事は人事や労務、庶務や財務など。採用関係や会社の経費削減、さ



まざまなイベントの企画や展示会出展などの業務に携わっています」
仕事内容を簡単に教えてください。
 「アジャスターのように、人と人とを調整してつなぐことが私の仕事です。総務は、営業部、仕入れをおこなう購買部など、すべての部署と関わって仕事をおこないます。業務の時短も心がけていますが、書類やメールのやりとりだけでなく、なるべく会って会話をするように心がけています。直接話すことで、言葉や表情から相手の思いが伝わってきます。大切にしてほしいのは、祖父と父から言われた『仕事とは人の役に立つこと。人の役に立つからこそ仕事』という言葉。その気持ちは常にもっています」
— やりがい
 「直接お客様から注文をいただいているわけではないかもしれませんが、私たちの仕事にスポットライトが当たるとは多くありません。そんななかでも、営業や購買を通じてお客様やメーカーからの『ありがとう』という言葉や聞くとうれしいですね。その言葉が最大の褒美です」

— なるためには

「エクセル、ワード、パワーポイントの使い方を勉強しておくことと仕事に役立つと思います。学生時代は、『本気で学び、本気で遊ぶ』。これを意識してください。あのときももっと勉強しておけば…」あのとき友人たちとの時間をもっと大切にしておけば…とみなさんその後悔してほしくないです。私も本気で遊んでいたからこそ、価値観が広がり、コミュニケーション力が身につきました。いまは、スマホゲームやSNSが隆盛ですが、人間味のある人とのつきあい方も大事にしてほしいです」
ありがとうございます。



自分探検

22歳 大学生生活を通し、多様な価値観を養う。中小企業の役割や意義を学ぶ。

25歳 3年間の下積みを経て、丸金商会に入社。総務部に配属される。

40歳 「仕事とは人の役に立つこと。人の役に立つからこそ仕事」をモットーに、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

